

<青少年アンビシャス運動について>

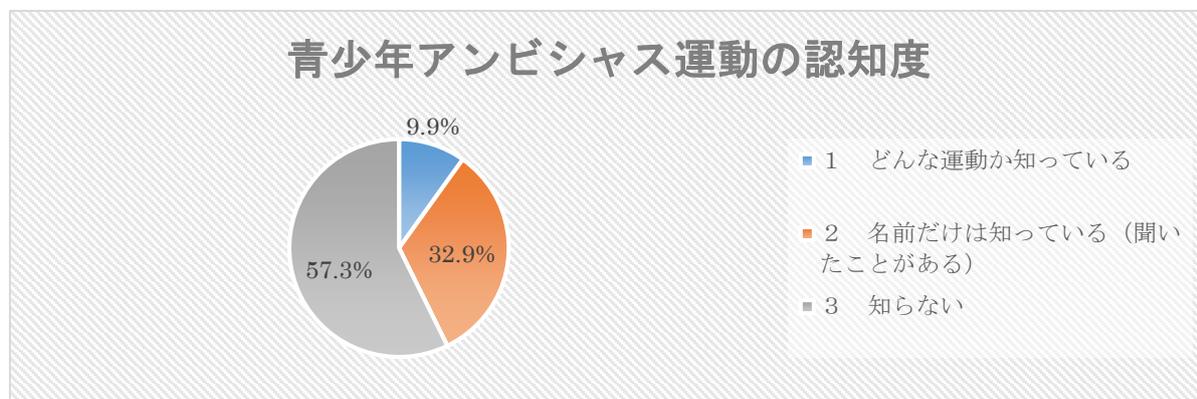
【調査の目的】

「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つたくましい青少年の育成」を目指す県民運動「青少年アンビシャス運動」は、今年度で21年目を迎えました。運動に参加する団体は1,983団体（R4.5.1現在）となり、放課後や休日に気軽に立ち寄れる子どもたちの居場所「アンビシャス広場」は県内に147か所開設されています。子どものための地域の輪は着実に広がりつつあり、さらに地域に根付くよう新たな展開を目指した取組を進めています。

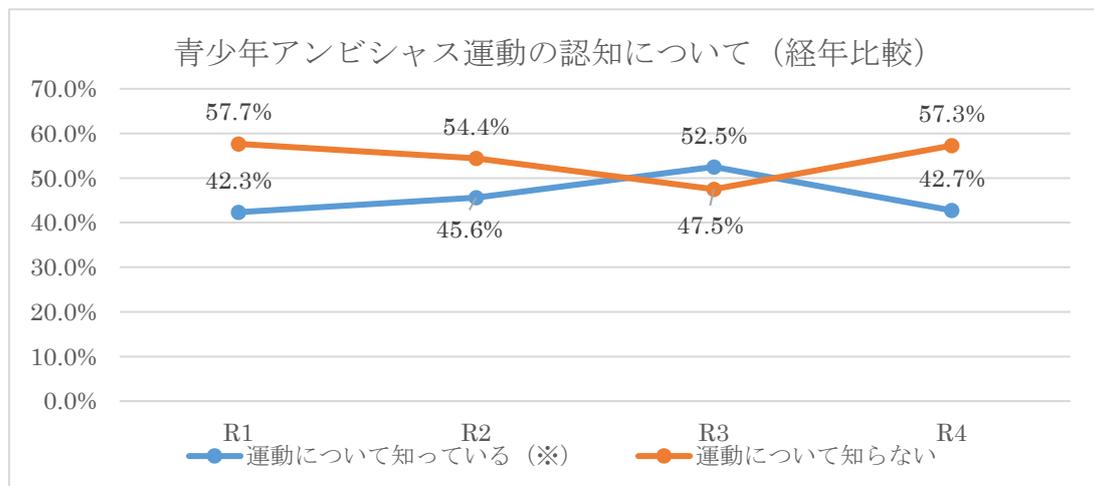
そこで、「青少年アンビシャス運動」について皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後の取組を推進するための参考とさせていただきます。

（人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課）

<1> 「青少年アンビシャス運動」について知っていますか。【選択/回答は1つのみ】

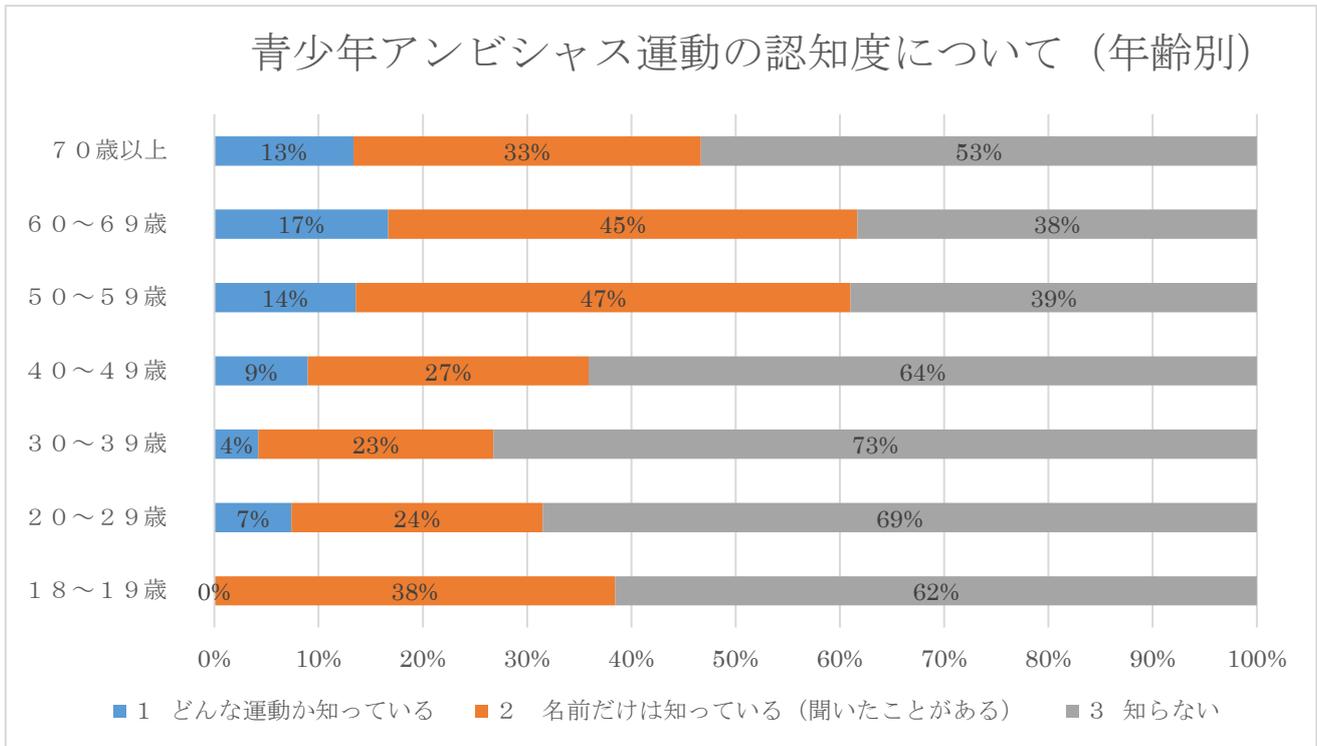


設問	回答数	割合
1 どんな運動か知っている	36	9.8%
2 名前だけは知っている（聞いたことがある）	120	32.9%
3 知らない	209	57.3%
総計	365	100%



※ 「1 どんな運動か知っている」「2 名前だけは知っている（聞いたことがある）」と回答した方の割合

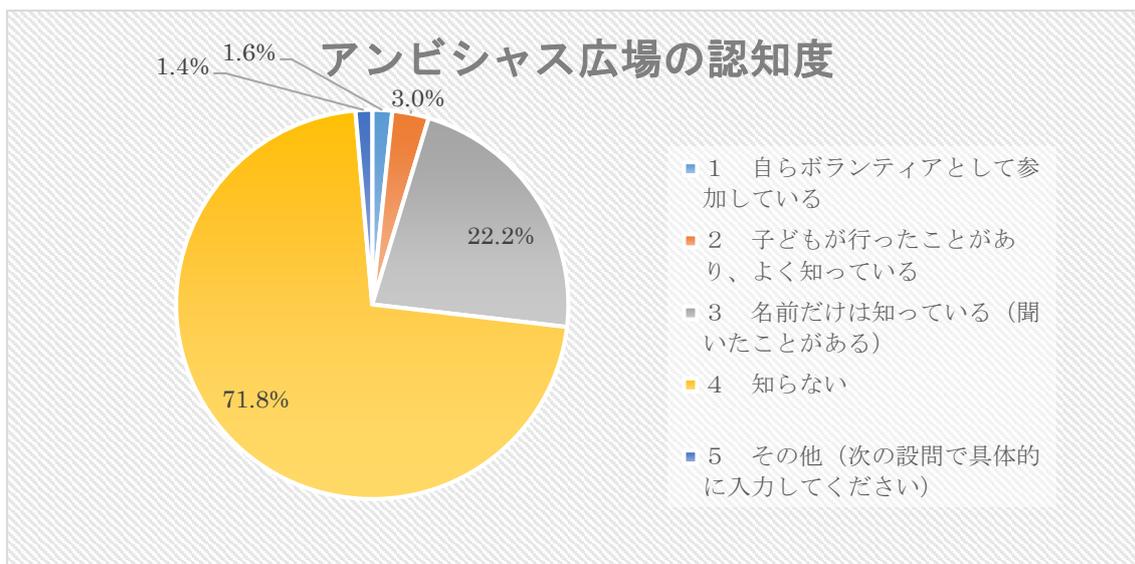
青少年アンビシャス運動の認知度について（年齢別）



○全体では、青少年アンビシャス運動について「どんな運動か知っている」「名前だけは知っている（聞いたことがある）」と回答した方は、全体の42.7%であった。

○年齢別では、60～69歳で「どんな運動か知っている」「名前だけは知っている（聞いたことがある）」と回答した方は62%と他の年齢層と比較して最も認知度が高い。

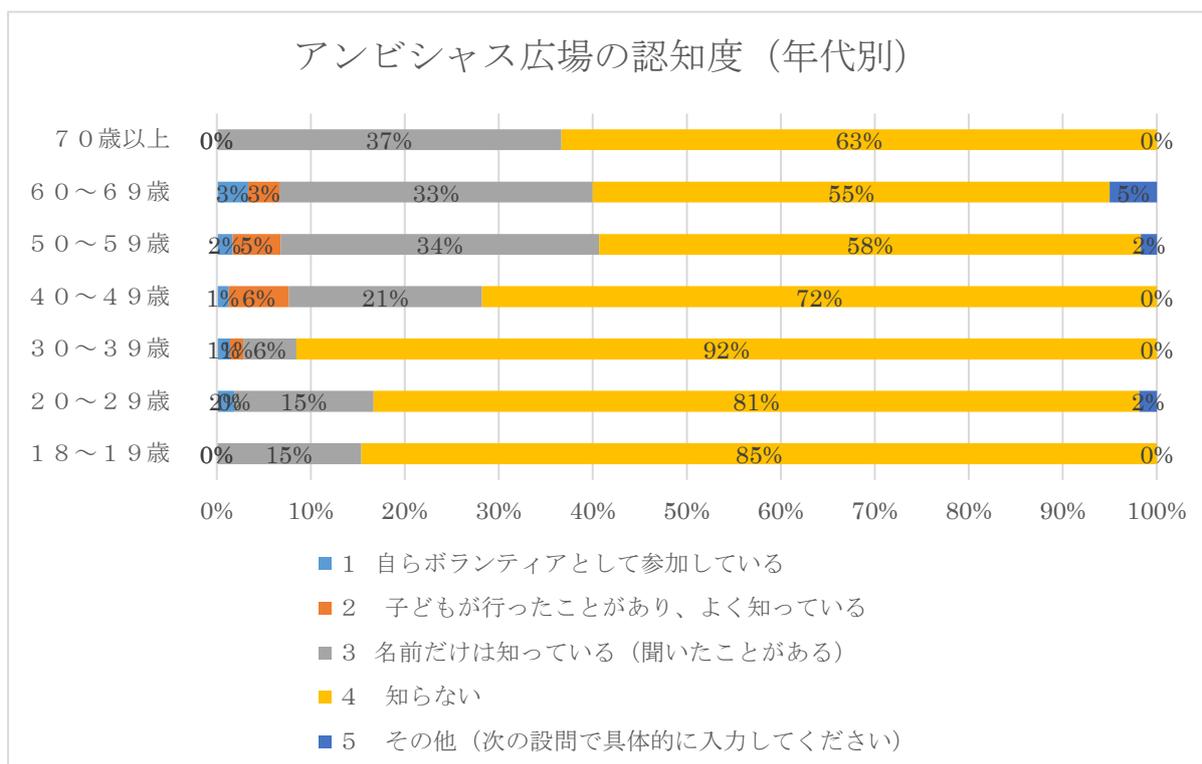
〈2〉「アンビシャス広場」について知っていますか。 【選択/回答は1つのみ】



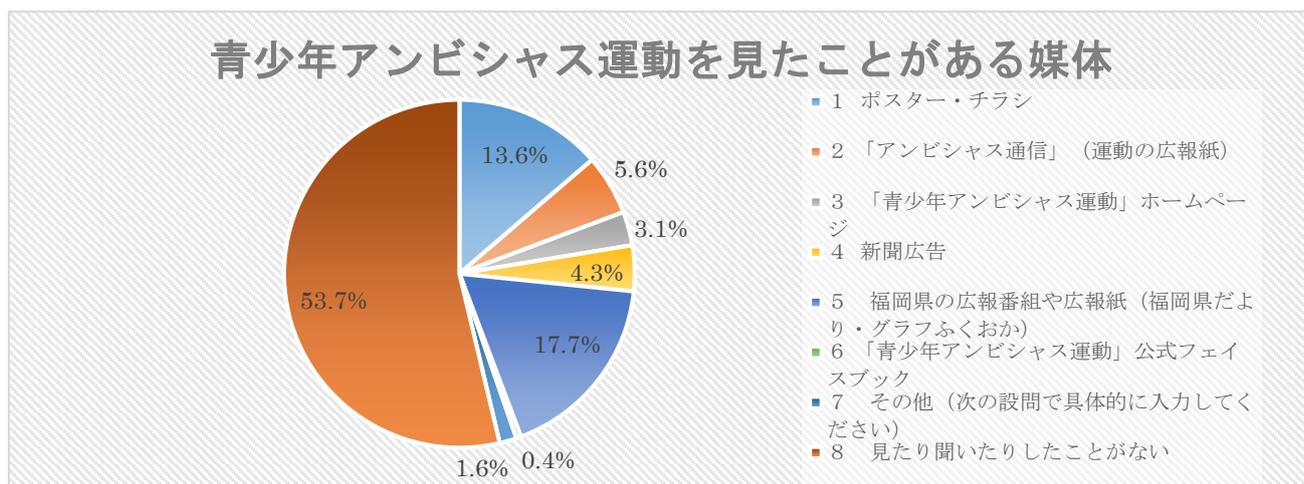
設問	回答数	割合
1 自分がボランティアとして参加している	6	1.6%
2 子どもが行ったことがあり、よく知っている	11	3.0%
3 名前だけは知っている（聞いたことがある）	81	22.2%
4 知らない	262	71.8%
5 その他	5	1.4%
総計	365	100%

【その他の回答】

- ・学校職員だったので内容まで比較的知っています。
- ・何度か参加したことがあり、以前は勤めている学童保育所から子どもたちを参加させたこともある。
- ・知り合いがスタッフをやっている NPO 法人が、青少年アンビシャス運動に参加しているので、その NPO 法人の活動内容を通じて知っていました。
- ・子供の頃に参加していた。

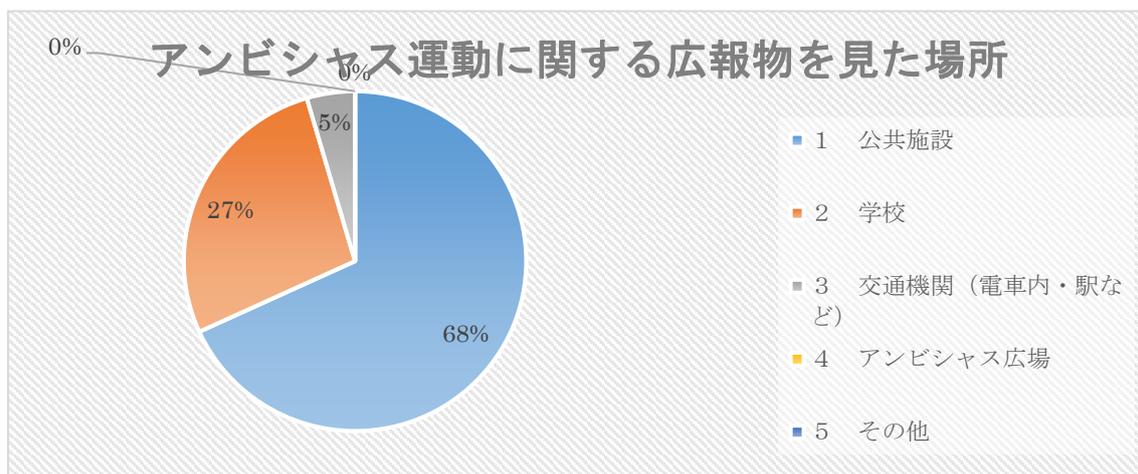


〈3〉「青少年アンビシャス運動」に関する広報で、これまでに見たり聞いたりしたことがあるものをすべて選んでください。【選択/複数回答可】



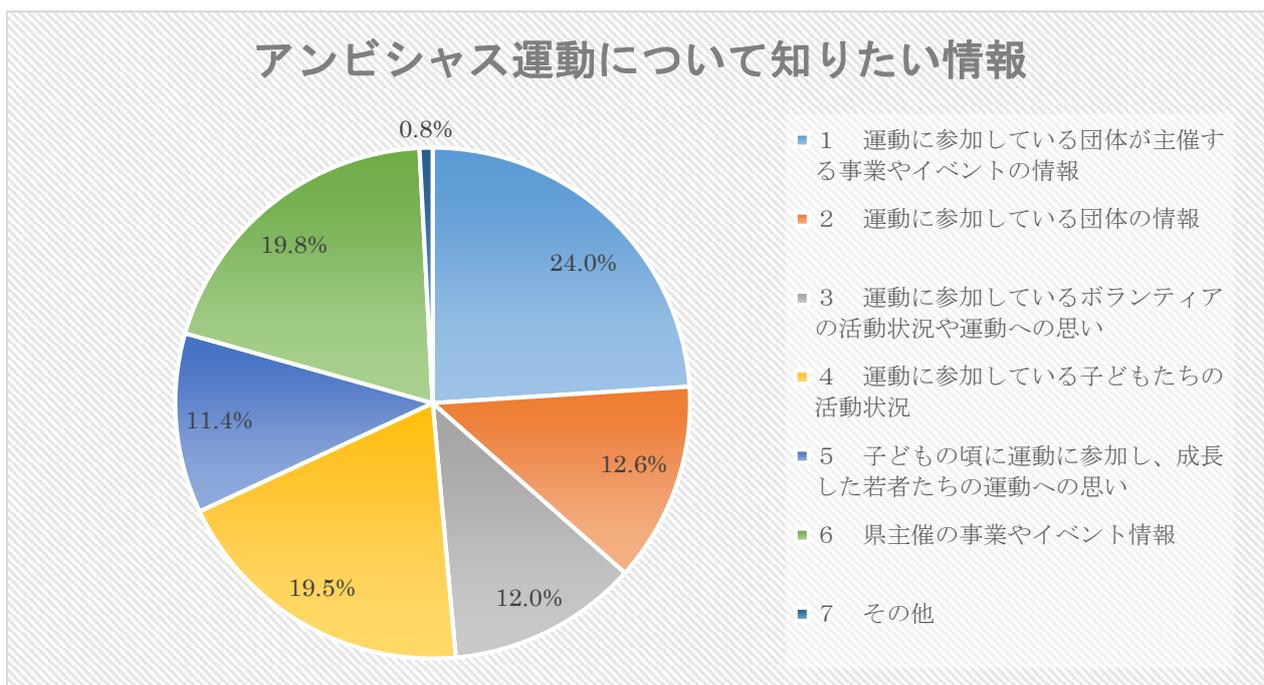
設問	回答数	割合
1 ポスター・チラシ	61	13.6%
2 「アンビシャス通信」(運動の広報紙)	25	5.6%
3 「青少年アンビシャス運動」ホームページ	14	3.1%
4 新聞広告	19	4.3%
5 福岡県の広報番組や広報紙(福岡県だより・グラフふくおか)	79	17.7%
6 「青少年アンビシャス運動」公式フェイスブック	2	0.4%
7 見たり聞いたりしたことがない	240	53.7%
8 その他	7	1.6%
総計	447	100%

〈4〉ポスターまたはチラシをどこで見ましたか。【選択/複数回答可】
 ※回答は、〈3〉で「ポスター・チラシを見たことがある」と答えた方 (回答件数=18)



設問	回答数	割合
1 公共施設(市町村役場、図書館など)	15	68%
2 学校	6	27%
3 交通機関(電車内・駅など)	1	5%
4 アンビシャス広場	0	0%
5 その他	0	0%
総計	22	100%

〈5〉青少年アンビシャス運動について知りたい情報 【選択/複数回答可】



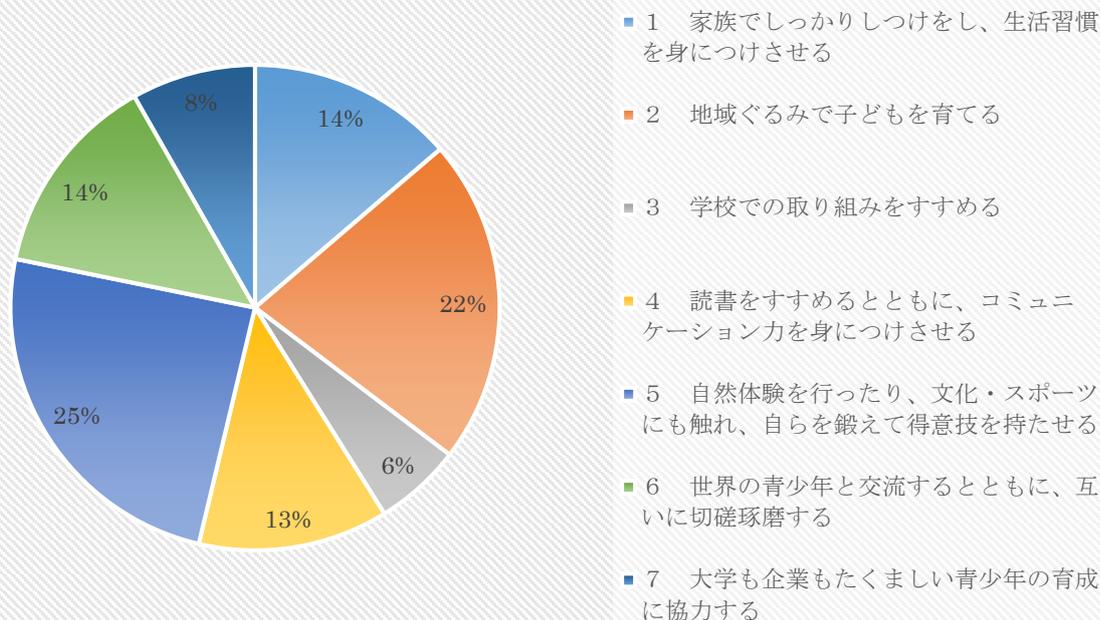
設問	回答数	割合
1 運動に参加している団体が主催する事業やイベントの情報	234	24.0%
2 運動に参加している団体の情報	123	12.6%
3 運動に参加しているボランティアの活動状況や運動への思い	117	12.0%
4 運動に参加している子どもたちの活動状況	190	19.5%
5 子どもの頃に運動に参加し、成長した若者たちの運動への思い	111	11.4%
6 県主催の事業やイベント情報	193	19.8%
7 その他	8	0.8%
総計	976	100%

【その他の回答】

- ・全く知りませんでした…。アンビシャスと言われてもピンとこないです。
- ・子どもと一緒に生活していないので興味がない
- ・情報が広く周知されていないと思う。自身の子供の頃も知らないし場所も知らない。広報誌等で文字としてだけかすかに記憶がある。
- ・そもそもどういう活動なのか理解していない人も多い。テレビやインターネットなどの媒体を使い、もっと広く知って貰った方がいいのではないかと思います。

〈6〉青少年アンビシャス運動では、「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つたくましい青少年の育成」のために、具体的な活動目標として、以下の「7（ななつ）の提案」を掲げて展開していますが、特に力を入れて取り組むべきと思われるものはどれですか。【選択/回答は3つまで】

7（ななつ）の提案のうち力を入れて取り組むべきもの



設問	回答数	割合
1 家族でしっかりしつけをし、生活習慣を身につけさせる	135	14%
2 地域ぐるみで子どもを育てる	214	22%
3 学校での取り組みをすすめる	57	6%
4 読書をすすめるとともに、コミュニケーション力を身につけさせる	124	13%
5 自然体験を行ったり、文化・スポーツにも触れ、自らを鍛えて得意技を持たせる	242	25%
6 世界の青少年と交流するとともに、互いに切磋琢磨する	134	14%
7 大学も企業もたくましい青少年の育成に協力する	81	8%
総計	987	100%

〈7〉上記「7（ななつ）の提案」以外で、特に力を入れるべきと思われるものがあれば、教えてください。【自由記述】

- ・ 現在の子どもたちで夢や希望を持ちそれに向かって頑張っている人は少ないのではないかと？社会や行政は青少年に夢や希望について考える機会を作ってあげるべきだと思う。
- ・ 若い頃から障がいをもつ方々と接点があれば、いろんな事に気づくことができると思います。
- ・ 学校での授業（活動）の中に地域の人々との交流が出来るような活動を取り入れてはどうだろうか。
- ・ 地域での繋がりが昔に比べると少なくなっている印象を受ける。様々な年代が参加できる催しがあれば、良い経験の機会となると思う。
- ・ 多様性を身につけて、子供の頃から「みんなと違う人」をはじき出さないように成長してほしい。例えば、性的マイノリティや外国籍を持つ子供をいじめたりせず、仲間として受け入れるようになってほしい。
- ・ ここ数年はコロナ禍の下で、様々な接点が希薄となっています。感染症対策を施して、より多くのコミュニケーションの場を設けていただきたいですね。
- ・ 共働き世帯が多い中、基本的なしつけの部分教育現場へ丸投げせざるを得なくなっています。子供への時間を確保できる環境作りが必要だと思います。

- ・ボランティアの勧めが良いと思います。自分の得意とする事を中心に、出来る範囲で教えあったり、災害対策についての知識を身に着け、地域に貢献できる人材の育成を希望します。
- ・地域に住む人々とのふれあいが大事だと思います。子ども会などが自治会の活動から失われている今、大人が安全に見守る中で子どもたちが主体となって活動できる場が必要だと思います。でも仕事に忙しい親と塾や習い事に忙しい子どもとで何かをしようと思っても集まらないのが現状でもあります。でもきっかけがあれば取り組むことができるような仕組みがあればいいなあと思います。 等

〈8〉青少年アンビシャス運動について、これまでの設問以外に意見がありますか。 【自由記述】

- ・どうしても、我が子が成人したり、社会人になると、青少年アンビシャス運動は、自分の管轄外と思いがちになるが、そうではないんだ、子育ては家庭、学校、社会の三者でやるべきことだの一般認識を育てる必要性があると思います。
- ・海外の青少年との交流事業は、ニュースバリューも有り、マスコミに掲載される機会も多いと思う。コロナが一段落したら、海外へ出かけたり、海外から青少年を招く活動を行い、県民にアピールして欲しい。
- ・今まで存在自体知らなかったのもう少し情報が入りやすかったらうれしい。
- ・積極的に社会貢献活動、人と人とのコミュニケーション力向上に向けた施策を図って欲しい。
- ・どのような活動があるかよくわからないので具体的な活動例などを挙げて多くの人に認知してもらったらいいのではないかと思います。
- ・とても良い運動のように思いますが、全く聞いたことがないので、まずはもっと認知度を高めてほしいです。「アンビシャス広場」もどこにあるのかも知らないし、掲示の看板やポスターすらも見たことがありません。
- ・成長期に孤独感や喪失感を味わうことなく、いろいろな経験を通して生きる力を育てる活動をしてほしい。
- ・アンビシャス広場良いですね。夏休みは大変暑く、しかもコロナでコミュニティセンターのフリースペースも閉められ、子どもが涼しく遊べる場所が全くありませんでした。コミセンの有料の部屋を借りようとしても、個人は駄目と言われ、個人宅は皆働いているので親の居ない家にあげるのも躊躇われ、全く子どもが集まる事が出来る場所がなく、引きこもったまま夏休みが終わろうとしています。広場は私の住んでるところにはないので、どんどん増やしてほしいです。
- ・市町村との連携は？県の情報は市町村の広報による情報より入りにくいと感じる。
- ・とても良い活動だと思います。ただ、市町村レベルでも熱心に活動されているのか疑問です。
- ・そもそも、補助金等有無も不明だが、運動の知名度が低く、HP も見たが、活動が地域団体に委ねられており地域差が大きくなっている。賛同する企業・団体を募るのであればもっと運動自体の意味合い・活動を具体的にあげておかないとこのようにぼわっとした活動になってしまっていると感じる。まずは、この辺りとの連携が必要なのではないかと思います。
- ・子育てしている世帯以外にも、もっと活動を県民に知らせた方がボランティア等参加してくれるのではないかと思います。 等



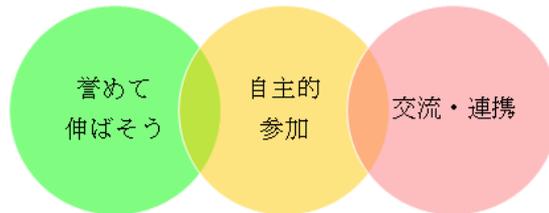
AMBITIOUS

青少年アンビシャス運動

豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ（アンビシャスな）たくましい青少年の育成を目指す福岡県の県民運動です。

子どもたちのかけがえのない個性を尊重し、その能力や可能性を伸ばしていくため、地域・家庭・学校・企業など、まず、大人が意識を変えて、子どもたちのためにそれぞれができることから取り組もうというものです。

○ 運動の三原則



○ 7（ななつ）の提案

- 1 家族でしっかりしつけをしよう！
- 2 地域ぐるみで子どもを育てよう！
- 3 学校でアンビシャス運動を進めよう！
- 4 読書をしよう！
- 5 自らを鍛え、得意技を持とう！
- 6 世界の青少年と切磋琢磨しよう！
- 7 大学も企業もアンビシャス運動に協力しよう！



○ 事業内容

■ アンビシャス広場

地域ぐるみでアンビシャスな子どもを育てるため、地域の公民館や集会所、学校の空き教室などを活用した子どもの居場所として、「アンビシャス広場」を設置しています。



■ アンビシャス・青年リーダー

研修会や広場訪問等の活動を通じて、幅広い視野と見識を持って、自主的・継続的に青少年アンビシャス運動に参加する青年リーダーを養成しています。



■ アンビシャスカレンダーの頒布

家庭のしつけの推進を図るため、「こんげつのチャレンジ」を記入し、家族みんなでチャレンジできる「青少年アンビシャスカレンダー」を頒布しています。

<問い合わせ先>

人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課

TEL：092-643-3615

E-Mail：ambitious@pref.fukuoka.lg.jp